企業・団体名（テナントリユース）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組（県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用する上で、差別しない体制を考慮している。精神疾患や体の障害のある従業員も積極的に採用を推進					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	各種ハラスメントや差別、人間関係の円滑化を推進。働きやすい環境の構築を推進					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	原則、残業を禁止にし多少の遅刻も許すようにし労働基準法を厳守する								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人は今はいないが、今後採用する機会があれば差別や偏見、人権侵害のないように取り組む				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全対策としては、ヘルメットや安全靴の支給　衛生対策としては、消毒液、マスク、ファブリーズ等の支給を行う			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルの負担の内容、経営者がメンタルに対して敏感になり、人間関係を円滑にし離職を防ぐ			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	業務を単純化し、障害のある方でも働けるように考慮している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	常にスキルアップのための、経費支出を惜しまず希望があれば対応する				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートと正社員との格差を是正すべく正社員の待遇をパートに近づけて、格差を是正する　同一賃金の原則を徹底する					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	福利厚生にフィットネスクラブ会員があり体調面、精神面で向上を図る			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	リユース可能な産廃物は限りなくリユースしてゴミを減らす。ゴミが出てしまった場合は、産廃業者のリユースの取り組みに参画し環境負荷を極限まで減らす。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月の光熱費を管理。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	車による温室効果ガスを減らすため社用車を所持せずレンタカーで対処し不要な用事を作らず車の使用を極力控える。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質は現状では一切発生していないが、今後万が一発生するようであれば把握し、適切に処理をする。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	生態系に悪影響を及ぼさないためには、やはりゴミ特にプラスチックごみの適切な処置を行う事が大切。そもそもプラスチックを生産しないことが大切。弊社ではそれらを一切生産せず、出た場合はリユースしゴミとなった場合は処理						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	弊社の得意分野で、この3RでSDGsのゴールを目指したい。ダンボールは梱包資材でリユース。ゴミとなった場合は資源物でリサイクル。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	事業としてはほとんど水を使用しないようにしている。						6.4 6.6										

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境配慮の取り組みはこの長野県版SDGsが最初の一歩。ここからステップアップしていきたい。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	弊社HP等でリユースを全面的に打ち出している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	現状はないが、太陽光パネルは検討したい							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	非合法材を使用していないことを確認												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	従業員へのチェックを厳しくしている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	従業員へのチェックを厳しくしている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、意匠の侵害をしないよう努めている								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	顧客データーの取り扱いに注意するよう従業員に指導する																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	左記項目を確認した																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との左記項目の侵害がないことを確認した					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	弊社の場合は事業実施中のケガが想定されるのでケガをしないような安全な取り組みを行う事を確認した。また無理な業務は一切おこなわず取引を断ることも大切であることを認識している			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	とにかく、大切なのは顧客へのコスト負担を減らすことがリピーターへつながる。コスパが大切									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	店舗什器のリユース事業で環境に配慮している						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	店舗什器のリユース事業で環境に配慮している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	店舗什器のリユース事業で地域に安価で品質の良い店舗什器を提供し続けている。長野県の地域への出店支援は30店舗以上				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	今後は子供たちへの安全の取り組みを行うボランティアに参画したい。通学路の安全性を高めるように行政に要請したり、歩道の設置、ポールの設置を要請していきたい				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域の農作物を積極的に利用している、また贈り物等に利用								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	代表の経営理念を日頃従業員に共有させている								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス、法令順守するよう指導している																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	いい影響が社会に出るよう努めているが、万が一悪影響が出た場合は、代表がトップで全面的に対処する																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーはアパレル業界関係者が多い。アパレルでは商品の廃棄が問題となっており私がこの問題に一石を投じて経営者たちにいい影響を伝えるようにする。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスク項目を洗い出し、想定されるリスクを対処できるように努めている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	左記項目を確認した																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	DXを新たに構築するスキームを考案中。被災者の店舗活動を支援、救済するビジネススキームを考案している									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	左記項目は検討中								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）